

菊池盆地の神々の足跡

古代湖「茂賀の浦」の水が引き始めると、菊池盆地内に人々が住み始めた。菊池に船で来た神々が最初に上陸したところには神社が祭られている。先月号で「八幡神社」の分布が、古代湖「茂賀の浦」の周囲にあることを紹介したが、貴船神社・六殿宮・北宮神社などの神社も「茂賀の浦」の湖岸に立地している。このことは神々の最初のお立ち地点に神社が立てられていると思われる。



水次神社の狛犬と猿田彦

菊池川流域の神社の数を多いほうから順に見ると、いちばん多いのが菅原神社の297社で、次いで熊野神社、八幡神社、日吉神社、阿蘇神社、八坂神社の順となっている。菅原神社は、大宰府の菅原天満宮からの勧請であると云われるが、菅原道真公を祭るだけでなく、古くからの天神信仰によるものと考えられる。「犬猿の仲」と言われるが、菅原神社には、どこも狛犬（犬）と猿田彦（猿）が仲良く祭られているのがおもしろい。いろいろな神々を仲良く祭るところが「日本のこころ」として奥ゆかしい。

また、菊池盆地には、下梶屋神社を始め海神社が4社あり内陸部まで海洋民族が住み着いた証拠であり、菊池から山鹿にかけての南船系の古代国家「狗奴国」を想定する上で重要である。大芝英雄氏は、「狗奴国」の別名を邪馬嘉国（山鹿市）とし、その男王を狗古智卑狗（菊池彦）と見ていることは興味深い。

菊池の古代史研究 中原 英

おわびと訂正
広報きくち6月号22ページに掲載した古代ローマンシリーズで誤りがありました。正しくは次のとおりです。
勘定 正 勘請
おわびして訂正します。

人権同和教育シリーズ⑤9

泗水西小学校6年 山崎裕生

友だちの大切さ

4年生のころ、ぼくは、「友だちなんていらない。」と思っていました。すぐけんかをして、打てばかいつつすると思っていました。そして、親友ができるどころか、友だちすらできませんでした。ぼくはいつのまにか「学校に行ってもつまらない。」と思っていました。5年生になって、習い事に通うようになり、そこで、他の小学校の人たちからへたくそと言われたり、けられたりしていじめられるようになりました。

ぼくは「友だちなんかいらない。」と思っていた心がだんだん消え、友だちがいたら助けてくれるかもと思うようになり、できるだけ友だちをつくらうと考えるようになりました。少しづつ友だちができること、習い事でもいじめられなくなってきました。ぼくは、友だちがいつも力になってくれると知り、だから、もっと友だちをつくりたくまりました。そして、他の小学校の人とも、友だち

ちになりました。そのうち、友だちのつくり方のコツがだんだんわかってきました。一つめは、自分から話しかけていくということです。二つめは相手のことをよく知るといふことです。そのおかげで友だちがいっぱいできました。その中でも親友が二人でき、とっても仲良く、ぼくたちはいつも遊ぶようになりました。ぼくたちはよいライバルでもあります。試合で会うと、三人で、「今日は勝つ。」と思いつながら試合をしています。いつも本気の勝負をしています。

九月になって、学校行事がありました。最初は何人友だちができたか。最初は不安でした。だけど、同じ班の友だちとも仲良くなり、また、仲良くなった友だちの学校の人も仲良くなりました。山登りもありました。一番最初に仲良くなった友だちと力を合わせ、協力しあいながら山に登ることができました。行事を通して、十人以上の友だちができました。その中でもさらに二人親友ができました。ぼくは、初めてこんなに大人数の人と仲良くなりました。親友もふ

え、ぼくにとって大切な日になりました。友だちができはじめてからは、今までの自分がなさけないと思うようになりました。それは自分の気持ちしだいで、友だちをいっぴいつくる事ができるとわかったからです。友だちができてぼくは、学校が楽しくなり、自分に自信が持てるようになりました。

ぼくは友だちがいっぱいできて自信ができました。友だちを大切にすると自分にいやなことがあっても助けられると思います。逆に、友だちがいやなめにあっていたら、すぐに行っってはげまそうと思います。

今回できた友だちは、ぼくにぎやかな話し相手になってくれています。これからも、もっと友だちをつくり、より大切にしていきたいと思っています。



シリーズ菊池遺産③

問い合わせ先 企画振興課 ☎(25)7250

伝統料理菓子とごこまめ

とじごこまめは、菊池地方で祭りやお祝いの行事食として、またおやつとして、地元の食材を使用して作られていた伝統料理菓子です。かまぼこのように輪切りにして食べます。

作り方は、菊池地方でも多様な作り方がありますが、まず小麦粉ともち粉と水を混ぜて火にかけ、黒砂糖となたね油と塩を加えながら練り上げます。次に大豆を煎り加えます。最後に、適当な量に切り分けたと、形を整え、せいろに入れて蒸しあげます。



菊池遺産認定第ふるさとH21-4号 推薦者 菊池菓子工業組合

菊池温泉1号井

菊池温泉1号井は、菊池温泉の発祥の地です。隈府町商工会特別委員会で、温泉掘削が決定され、昭和29年6月26日、東正

観寺守山1125の地で起工式が行われました。一帯は、桑畑と梨畑でしたが、10月28日に深度246m、地下温度45・3℃で掘削工事を完了し、仮設の浴場が作られました。昭和29年11月3日には、浴場開きが行われ、「隈府温泉」と命名されました。入浴料は大人10円、子ども5円でした。

その後、公衆浴場を併設した「隈府会館」が建設され、仮設浴場の使命は終了しました。さらに、昭和37年には、「菊池温泉」と改名されました。



菊池遺産認定第ふるさとH21-5号 推薦者 菊池温泉観光旅館協同組合

風呂場給湯施設

花房台地にある菊池（花房）飛行場跡地には、駐屯していた菊池通信教育隊の遺産があり、戦時中に少年飛行兵が使用していた風呂場、給湯施設が残っています。



菊池遺産認定第ふるさとH21-6号 推薦者 花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会

慰霊塔

終戦後、富の原に入植した開拓者達において、少年飛行兵ら38人の霊を慰めるべく、昭和26年、慰霊塔が建てられました。昭和32年からは、小飛会・戦友会などと区民をあげての年一回の合同慰霊祭が行われていました。また、昭和62年に30周年を記念して、現在の自然石に建て替えられました。



菊池遺産認定第ふるさとH21-7号 推薦者 花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会

韓国発見シリーズ⑭ 14回目の今回は「金」です



菊池市役所 国際観光マネージャー 金 相廷さん

数年前、韓国のある大企業の会長の火葬が話題になった。それは遺言という形を取っていたが、国民に火葬を奨励するためのことだったと言う。彼は生前「私の遺体は火葬し、立派な火葬施設を作り、社会に寄贈して葬儀文化改善に努力してください」と頼んだ。

日本とは違い、韓国では土葬による弊害が度々指摘されている。土葬文化は狭い国土を蚕食するので、社会的な問題だ。旧保健福祉部(日本の厚生省)によると1997年末現在、韓国国内全体の墓地は約1,998万余に推定されると言う。全国の学校用地の4倍、工場用地の2倍を超える規模だ。また、毎年鞠智城の約5倍(2・3km)ほどの大きさの国土が墓地に蚕食されている。国民1人当りの住宅面積が6坪に及ばないのに対し、墓地一つの平均面積は15坪を越す状況である。

土葬は祖先崇拜思想と密接に結び、韓国の人々は祭祀とともに墓をとっても重要視する。墓地を選ぶ時には風水地理説によ

り、日向で見晴らしの良い所を選ぶ。お金持ちは先祖の墓に大変お金をかけ高級に飾りつける。そのような行動意識の中には先祖が子孫を立派な人物になるよう守ってくれるとか豊かに暮らせるように助けてくれるという考えがある。例えば、韓国人の中には「先祖さまのおかげで」、「先祖さまの恩徳で」と言う人がいる。彼らは現在の幸せが先祖からの祝福によると思うからだ。もし、先祖崇拜を怠ると子孫に罰が当たり、家系が亡びることもあると思う。それで、祭祀を大切にしたり墓地の管理を徹底的にする。20余年前、当時の大統領が先祖の陰徳で大統領になったと言い、先祖の墓を大きく飾りたて国民の矚(ひんしゆく)を買ったことがある。

最近ある新聞社が「あなたはどんな葬式を希望するか」という質問に対し、48・1%の人が火葬が一番多く、土葬28・5%、考え方がないが23・4%だった。このような結果を見る時、韓国ではまだ火葬文化への理解は徹底していないようだ。